

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿(保育指針・幼稚園・こども園教育要領)

「協同性」

友だちと関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり工夫したり協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

「言葉による伝えあい」

保育者や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝えあいを楽しむようになる。

「道徳性・規範意識の芽生え」

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、決まりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりを作ったり、守ったりするようになる。

「思考力の芽生え」

身近な事象にかかわる中で数の性質や仕組みなどを感じ取ったり気づいたりし、考えたり予想したり工夫したりするなど、多様な関りを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら自分の考えをよりよいものにするようになる。

10の姿 その他6項目

「健康な心と体」「自立心」「社会生活との関り」「自然との関り・生命尊重」

「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」「豊かな感性と表現」

◆予測できない未来を生き抜くためのコミュニケーション力

- ・自分の思い、困った、を伝える
- ・自分たちで自分たちのことを考える
- ・失敗しよう

◆子どもたちの援助者として大切にしたいこと

- ・人間として、市民として、子どもを尊重する。
- ・私はまるごと私のままで愛されていていい存在だ
- ・生まれてきてよかった
- ・明日は何をしようかな～



子どもが考えた行事 4歳児 プール閉め